

令和7年度 UBコミュニティ 第2回学校運営協議会（いじめ防止対策委員会含む）議事録

日時：令和7年10月29日（水） 13：50～15：30

会場：浦和別所小学校 東校舎4階 多目的室東

出席者：学校運営協議会 会長／田島道子（浦和別所幼稚園 園長）
学校運営協議会 副会長／飯塚雅雄（地元有識者）
学校運営協議会 委員／小倉弘一（白幡中学校 校長）
学校運営協議会 委員／大内聡子（民生主任児童委員）
学校運営協議会 委員／大隈里絵（別所第2自治会 副会長）
学校運営協議会 委員／小川徳子（浦和別所児童センター 館長）
学校運営協議会 委員／南 啓員（浦和別所公民館 館長）
学校運営協議会 委員／持木信治（浦和別所小学校 校長）
学校運営協議会 委員／石原裕太（浦和別所小学校 教頭）
学校運営協議会 委員／松崎靖彦（浦和別所小学校 教務主任）
学校運営協議会 委員／佐藤恵実（浦和別所小学校 学校地域連携コーディネーター）
事務局／山田大童（浦和別所小学校 教頭）
事務局／有隅宏美（浦和別所小学校 事務主幹）
視察者／浜松市伊目小学校 吉川麻利子校長
同行者／さいたま市教育委員会 生涯学習振興課 2名
欠席者：学校運営協議会 委員／難波拓也（浦和別所小学校 PTA 会長）
学校運営協議会 委員／羽鳥典子（すくさぽ浦和別所 運営委員）
学校運営協議会 委員／山崎吉孝（三井住友銀行武蔵浦和支店 支店長）

*武蔵浦和義務教育学校開校準備室より

7月に開催された保護者および地域の方々対象の説明会の報告

- ・令和10年の開校が困難であり、3回目の入札も不調。
- ・開校の見通しが立っていない状況ではあるが、次回の入札のスケジュールを立てている。
- ・業者のアンケート調査の実施。
- ・今後質問等があった場合は、学校を通して教育委員会へ伝えて欲しい。

1 開会のことば（石原教頭）

2 あいさつ

田島会長あいさつ

- ・協議会に参加してよい気持ちになるよう、活発な意見交換をして欲しい。
- ・幼稚園の現場では、これから就学時健診があり、学校を知るきっかけになる。
- ・内谷中学校とは幼稚園の4歳児との交流会、また、中学生の職場体験受け入れも実施している。
- ・学校運営協議会を通して、情報共有をしていきたい。

持木校長あいさつ

- ・9月には5年生の林間学校、10月には6年生の修学旅行、別所っ子コンサートを実施した。
- ・11月には3・4年生の校外学習が控えている。
- ・現在、インフルエンザの流行に伴い、高学年3クラスが学級閉鎖。
- ・本日の熟議には安全委員会の児童が参加し、地域の安全について運営協議会委員の方々と協議を実

施するが、その場ですされた意見や取組を学校経営に活かしたい。

3 いじめ防止対策委員会 加勢生徒指導主任による報告

(1) いじめの現状について

10件中、3件が解消。さいたま市は、保護者からの情報で認知されることが多い。

(2) いじめの未然防止の取組について

あいさつ運動に関しては、9月が猛暑のため、実施できなかった学級の振替が1月にある。実施方法を検討。

4 学校運営協議会 (進行：石原教頭)

(1) 令和7年度学校配当予算執行状況

事務局の有隣事務主幹から、Sola る一むへのエアコン設置、体育館パイプ椅子50脚、理科室の椅子20脚(令和8年度には追加で20脚購入)の購入、現在の執行率等を説明。順調に執行している。

(2) 令和7年度修繕状況 石原教頭が説明

- ・職員室給湯器交換 修繕中
- ・Sola る一むエアコン 設置予定

(3) 令和7年度学校評価について 石原教頭が説明

- ・現状のニーズに応じて、設問を変更した。
- ・学校評価の結果を次年度に反映していきたい。

(4) 通知表の2学期制について 石原教頭が説明

子どもとの接点を増やす、教員の業務負担軽減を目的として来年度から導入予定。学期は3学期、評価は2学期制となる。

4/1～9/30 10月通知表配付

10/1～3/31 3月通知表配付

詳細は検討中。

大隈委員：短縮授業が無くなり、普段の生活での成績付けが大変になるのでは？

石原教頭：会議等を減らして、評価する時間を設ける。

田島会長：評価だけでなく、3学期制を2学期制にすることは可能か？

山田教頭：さいたま市では3学期制と決まっているため、学校独自の変更はできない。

田島会長：学期も2学期制の設置を要望するのもよいのでは？

飯塚委員：学校教育に関する形態には、管理規則がある。

山田教頭：学校教育に関する形態は、管理規則で定められているため、管理規則を変更すれば、2学期制も可能である。

石原教頭：南区では、向小学校が通知表の2学期制を導入している。学校が子どもを援助するために、大宮小学校も導入している。

小倉委員：1月に浦和中学校等の受験があるが、その際の評定はどれを使うのか？

石原教頭：前期の評定を使用する予定ではあるが、検討事項となっている。

(5) 令和7年度すくさぽ浦和別所協働活動状況 佐藤 Co が説明

学校行事、授業、環境整備等の協働活動が充実しており、多くのボランティアが活動している。10月現在で、延べ353人のボランティアの協力を得ている。

(6) 新規事業に係る提案 佐藤 Co

①地域と協働したあいさつ運動の実施

いじめの未然防止の取組のひとつである児童のあいさつ運動活動日に、地域や保護者の方々

が参加してあいさつ運動をする。

実施予定日は11月10日(月)・11日(火)・12日(水)・17日(月)・18日(火)・19日(水)・21日(金)の8:00~8:15。場所は正門と南門。

活動の際には、防犯ベストや身分を証明できる名札を着用。自治会、育成会、民生委員、PTA、すくさぽボランティアに周知し、協力をお願いする。

②「子ども支援ボランティア 別所っ子サポーター」による支援活動

児童と地域の交流を深め、信頼関係を構築するために校内の児童支援、「Sola る一む」利用児童支援のために「子ども支援ボランティア 別所っ子サポーター」を配置する。

支援員には、学校運営協議会委員、民生委員、学校長推薦者等を充てる。

令和7年度3学期はお試し期間とし、令和8年度から推進事業として実施予定。

小倉委員：支援員の活動保険をどうするか考慮する必要がある。

5 熟議

テーマは「児童・生徒と地域の協働による安全活動」で、児童の委員会(安全委員会)において、地域に住む子どもたちの安心安全を支援する「子どもひなん所110番の家」について理解を深める活動を行った。

9月3日の安全委員会の活動で、子どもたちが訪問した「110番の家」でのインタビューからの気付きをもとに、児童と学校運営協議会委員、安全委員会担当教諭、インタビューに帯同したボランティアが4グループに分かれてグループディスカッションを行った。

ディスカッションでは、子どもたちに訪問で気付いたこと、110番の家を知ってもらうためにはどうしたらよいか話してもらい、地域や保護者も実践可能な取組について話し合った。

児童の気付き

- 何かあったら助けてくれる場所。
- 子どもたちの安全を優先している。
- 何か困ったことがあると、複数で対応してくれる。
- 学校に連絡してくれる。
- 110番の家が始まった当初から登録している。
- 110番の家には事件を抑える力がある。
- マニュアルどおりに対応して、子どもたちのことを1番に考えてくれているので、自分たちが守られていることが分かった。
- 実際に使われたことが無いということが分かって、少し安心した。
- 子どもが気付きやすい高さに看板がある。
- 危険な時や困った時(追いかけられる、具合が悪くなった、周りの人が困っている)には、迷わずに助けを求める。
- 110番の家を知っておくと安心する。
- 110番の家を知らない児童が多い。
- 110番の家の看板が見づらい(小さい、色が目立たない)。
- 110番の家にバラつきがあり、看板以外の目印がない。
- お店によっては、開いている時間が短い。

110番の家を知ってもらうための取組

- ・全校児童に知ってもらうために、校内放送を流す。
- ・安全委員会でポスターを作り、校内や地域の掲示板等に掲示して周知する。
- ・安全新聞を作る。

学校運営協議会委員から

- ・別所公民館館長から110番の家登録の要望が上がった。また、子どもたちが作成したポスターも掲示するとの話があった。

まとめ 佐藤C○

子どもたちは委員会活動、大人はそれぞれの活動場所にて、取組の実現を目指していきたい。

6 事務連絡（日程等について）

- ・次回開催日程：令和8年2月6日（金） 第3回学校運営協議会 安全委員会の児童との交流給食あり
- ・令和8年度始業式・終業式等の日程について
- ・学校評価アンケート協力依頼

7 閉会のことば（石原教頭）